



# 公共施設の現状を分かりやすく！ 漫画版パンフレットが完成！ 池新田高等学校美術部



## PROFILE

部員は1～3年生で15人。部長の八重津愛加さん(2年生)を中心に、日々創作活動に取り組む。

## 漫画化プロジェクト始動

「公共施設のことを知って、御前崎市の未来について考えるきっかけになったらうれしい」と話すのは、池新田高等学校美術部の部員たち。市役所財政課からの依頼がきっかけで、難しく捉えられることが多い公共施設の現状や課題を漫画で表現するため、平成27年7月、漫画化プロジェクトがスタートした。

## 現状をみんなに伝えたい

漫画作成の話があったとき、部長の八重津愛加さんは「今まで、公共施設について考えたこともなかった。漫画を描くことも初めてだったので、完成できるか不安でいっぱいだった」と話す。

作成にあたり、部員たちは公共施設の現状や課題について市職員から説明を受けた。「難しいけれどみんなにも分かってほしい」そう思った部員たちは、どうしたらたくさんの人に伝えることができるか、何度も話し合いを重ねた。漫画のコンセプトは「分かりやすく読みたくなるもの」。登場人物や物語は全て部員た

ちが考案した。八重津部長を中心に作成し、話し合いをもとにストーリーを考えていった。下描きをした後は、パソコンを使って仕上げた。表紙を担当した1・2年生

は「漫画作成に携われて楽しかった。読む人が最初に目にする部分なので、印象に残るものを作りたい」と笑顔で語った。人物の表情やポーズなど、苦戦する部分もあったが、先輩からアドバイスももらい、モデルになってもらうなど、協力して描き上げた。

## 思いを未来につなぐ

平成28年2月、ついに漫画版パンフレットが完成した。「製本された漫画を見たとき、うれしかった。公共施設や市について知るいい機会になった」と話す八重津さん。部員たちも「今の私たちでも考えることができる問題だと分かった」「身近にある公共施設に少しでも関心を持ってもらえたらうれしい」と話した。未来を担っていく彼女たちが作成した漫画は、夢と希望で満ちあふれている。漫画を通して、市の未来を共に考えていきたい。